

## 自然観察おもしろ講座

### 水がつなぐ森と湧き水と小川の生きもの

羽根 敏子（松戸市）

日 時：2024 年 10 月 12 日（土）9 時 30 分～12 時、天気：晴れ

場 所：21 世紀の森と広場（縄文の森・みどりの里）

参加者：17 名（大人 11 名 子ども 6 名）

講 師：羽根（森担当）・寺園（水辺担当）、スタッフ：三嶋・渋谷

#### 1. テーマ

森と低地の水系は雨水によってつながっている。それは森の生き物たち（動物、菌類）の働きによって形成された土壌が重要な役割を果たしている。

#### 2. 展開

①小川でモンドリを仕掛ける。

①森の中で、生き物を採集。

（前日に仕掛けたベイトトラップと、当日のハンド採集）

その際、森の土壌はふかふかしていることを確認する。

②生物を食べ物で 5 つに分類する。

- ・生きた植物を食べる生き物   ・枯れた植物を食べる生き物
- ・生きた動物を食べる生き物   ・死んだ動物を食べる生き物   ・糞を食べる生き物

③ ②から森の林床の生き物の食物連鎖によって、土壌が形成されることを説明。

④低地の湧水を観察する。

⑤土壌は、生物によってつくられ、ふかふかしており保水力を持っている。

（土壌による水のろ過実験）

⑥小川でモンドリにかかった生き物を採集、分類、観察

⑦外来種についての説明

#### 3. 実施してみた

- ・下見後に、森へ行く道が倒木により通行止めになった。そのため移動が回り道になって時間が足りなくなったため、⑤の土壌を通しての水のろ過実験を実施することができなかった。
- ・実際に生き物（昆虫、菌類、魚類など）を採集して観察したので、小さい子どもたちでも、興味を持ち続けることができた。
- ・③の説明にもっと工夫が必要である。



トレー・カップに森の生きものを採取

捕った生きものを分類して観察

みんなで分類を考えてみよう？！